



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ノーリツ鋼機株式会社

コード番号 7744 URL <http://www.noritsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 西本 博嗣

問合せ先責任者 (役職名) IR・PR・ER室長

(氏名) 谷口 博則

TEL 073-406-5678

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,020	△8.3	△76	—	△173	—	△361	—
26年3月期第1四半期	13,107	216.4	648	—	560	—	635	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △486百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 1,608百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△10.15	—
26年3月期第1四半期	17.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	89,489	—	60,341	—	65.7	—
26年3月期	92,269	—	61,229	—	64.6	—

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 58,750百万円 26年3月期 59,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△0.0	500	△53.2	200	△79.6	△520	—	△14.60
通期	56,000	1.7	2,700	△9.0	2,500	△10.9	500	△62.3	14.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	36,190,872 株	26年3月期	36,190,872 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	576,847 株	26年3月期	576,847 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	35,614,025 株	26年3月期1Q	35,614,025 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間においては、継続して「環境」「食」「医療」「イメージング」「シニア・ライフ」分野での収益力の拡大を目的としたポートフォリオの強化に取り組んでまいりました。

当四半期連結累計期間における事業の状況は、医療分野ではレセプト・データの分析、調査事業及び整形外科におけるインプラント器具の生産・販売事業の増収増益が業績に寄与しました。一方で、シニア・ライフ分野における通信販売事業が、前期末の消費税増税前特需の反動等もあり、大幅な減収減益となりました。また、環境、食、イメージング分野においても、販売が低調に推移しました。これらの結果、売上高は120億20百万円（前年同期比8.3%減）、営業損失は76百万円（前年同期は営業利益6億48百万円）、経常損失は1億73百万円（前年同期は経常利益5億60百万円）、四半期純損失は3億61百万円（前年同期は四半期純利益6億35百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各セグメント別の売上高は外部顧客への売上高を記載しており、またセグメント損益(営業損益)は各セグメント間取引の調整額を加算したものであります。

## ① イメージング

写真処理機器において、前年同期と比較し海外における北米、アジアの主要国での売上の増加があったものの、国内では低調に推移し、売上高は31億50百万円と前年同期と比べ1億54百万円（4.7%減）の減収となりました。

セグメント損失（営業損失）は、上述の減収に加え北米でのサービス要員の人員補強などから販管費の増加などにより、91百万円（前年同期は営業利益62百万円）と前年同期と比べ1億53百万円の減益となりました。

## ② 環境

環境ソリューション製品であるLEDライティングや工場、オフィスビル、商業施設などへのエネルギーマネジメントシステム機器などの販売活動に注力しましたが、全体の販売数量は計画を下回り、売上高は4億6百万円と前年同期と比べ24百万円（5.6%減）の減収となりました。

セグメント損失（営業損失）は、原価率の改善などから22百万円（前年同期は営業損失43百万円）と前年同期と比べ21百万円の改善効果がありました。

## ③ 食

厨房機器である水循環式電気フライヤー等の販売活動に注力しましたが、国内での販売数が想定を大幅に下回り、売上高は45百万円と前年同期と比べ1億10百万円（70.8%減）の減収となりました。

売上高の減少に伴い、セグメント損失（営業損失）は、34百万円（前年同期は営業損失11百万円）と前年同期と比べ22百万円の減益となりました。

## ④ 医療

前連結会計年度から加わった歯科及び医療機関に対する歯科材料・医療材料の通信販売事業は消費税増税前の駆け込み需要の反動があったものの、レセプト・データの分析及び調査事業や整形外科領域におけるインプラント器具の生産・販売事業が順調に推移しました。その結果、売上高は27億52百万円と前年同期と比べ57百万円（2.1%増）の増収、セグメント利益（営業利益）は1億43百万円（前年同期は営業利益1億7百万円）と前年同期と比べ35百万円の増益となりました。

⑤ シニア・ライフ

シニア・ライフ分野での通信販売事業においては、前期末の消費税増税前特需の反動等もあり、大幅な減収減益となりました。その結果、売上高は55億78百万円と前年同期と比べ8億7百万円(12.6%減)の減収、セグメント損失(営業損失)は1億15百万円(前年同期は営業利益4億34百万円)と前年同期と比べ5億50百万円の減益となりました。

⑥ その他

その他の事業におきましては、売上高が87百万円、セグメント利益(営業利益)が39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は894億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億79百万円減少しました。

流動資産は、41億95百万円の減少となりました。これは主に有価証券が18億11百万円、現金及び預金が17億79百万円、受取手形及び売掛金が13億25百万円減少したことによるものです。

固定資産は、14億16百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が12億44百万円増加したことによるものです。

負債は、18億91百万円の減少となりました。これは主に返済により長期借入金が7億1百万円、未払法人税等が4億91百万円、支払手形及び買掛金が3億97百万円減少したことによるものです。

純資産は、8億87百万円の減少となりました。これは主に四半期純損失3億61百万円の計上及び配当の実施の結果、利益剰余金が7億16百万円減少したこと、為替換算調整勘定が2億15百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月19日公表の「平成26年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間については従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が212百万円増加し、利益剰余金が212百万円減少しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,631	21,852
受取手形及び売掛金	7,544	6,219
有価証券	5,181	3,369
商品及び製品	7,501	7,742
仕掛品	284	388
原材料及び貯蔵品	132	185
繰延税金資産	832	880
その他	2,708	2,992
貸倒引当金	△217	△225
流動資産合計	47,600	43,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,841	33,189
機械装置及び運搬具	9,664	9,160
土地	12,108	12,437
建設仮勘定	154	29
その他	13,569	12,711
減価償却累計額	△46,197	△44,820
有形固定資産合計	22,140	22,709
無形固定資産		
のれん	13,612	13,407
その他	916	882
無形固定資産合計	14,529	14,289
投資その他の資産		
投資有価証券	3,666	4,911
長期貸付金	1,907	1,871
退職給付に係る資産	87	—
繰延税金資産	908	949
その他	2,840	2,764
貸倒引当金	△1,411	△1,412
投資その他の資産合計	7,998	9,085
固定資産合計	44,668	46,084
資産合計	92,269	89,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,982	3,585
短期借入金	1,800	1,700
1年内返済予定の長期借入金	5,773	5,754
未払法人税等	724	233
繰延税金負債	1	—
賞与引当金	453	305
債務保証損失引当金	11	10
製品保証引当金	206	197
ポイント引当金	246	231
その他	5,535	5,432
流動負債合計	18,734	17,449
固定負債		
長期借入金	10,744	10,043
繰延税金負債	266	284
退職給付に係る負債	328	449
その他	965	920
固定負債合計	12,304	11,697
負債合計	31,039	29,147
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,025	7,025
資本剰余金	17,913	17,913
利益剰余金	38,538	37,822
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	62,266	61,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193	233
為替換算調整勘定	△2,685	△2,901
退職給付に係る調整累計額	△135	△130
その他の包括利益累計額合計	△2,628	△2,799
新株予約権	19	19
少数株主持分	1,571	1,571
純資産合計	61,229	60,341
負債純資産合計	92,269	89,489

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,107	12,020
売上原価	6,291	5,631
売上総利益	6,815	6,388
販売費及び一般管理費	6,167	6,465
営業利益又は営業損失(△)	648	△76
営業外収益		
受取利息	87	111
受取配当金	21	22
その他	39	34
営業外収益合計	149	169
営業外費用		
支払利息	69	60
為替差損	52	40
持分法による投資損失	82	73
その他	31	92
営業外費用合計	237	266
経常利益又は経常損失(△)	560	△173
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	693	—
特別利益合計	693	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	23
貸倒引当金繰入額	283	—
投資有価証券評価損	0	—
構造改革費用	—	11
特別損失合計	289	35
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	964	△208
法人税等	280	106
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	683	△315
少数株主利益	48	45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	635	△361

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	683	△315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	39
為替換算調整勘定	892	△209
退職給付に係る調整額	—	5
持分法適用会社に対する持分相当額	17	△6
その他の包括利益合計	924	△170
四半期包括利益	1,608	△486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,559	△532
少数株主に係る四半期包括利益	48	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメー ジング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,305	430	155	2,695	6,385	135	13,107	—	13,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,305	430	155	2,695	6,385	135	13,107	—	13,107
セグメント利益 又は損失(△)	62	△43	△11	107	434	100	649	△0	648

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は769百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメー ジング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計
全社費用配賦前の セグメント利益 又は損失(△)	582	△25	33	158	556	114	1,418
全社費用	519	17	45	51	121	14	769
セグメント利益 又は損失(△)	62	△43	△11	107	434	100	649

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメ ージ ング	環 境	食	医 療	シ ニ ア ・ ラ イ フ	そ の 他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,150	406	45	2,752	5,578	87	12,020	—	12,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,150	406	45	2,752	5,578	87	12,020	—	12,020
セグメント利益 又は損失(△)	△91	△22	△34	143	△115	39	△80	3	△76

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円には、セグメント間取引消去3百万円が含まれております。  
 2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は752百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメ ージ ング	環 境	食	医 療	シ ニ ア ・ ラ イ フ	そ の 他	計
全社費用配賦前の セグメント利益 又は損失(△)	388	13	△18	224	12	51	671
全社費用	479	36	15	81	127	11	752
セグメント利益 又は損失(△)	△91	△22	△34	143	△115	39	△80

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、当該変更が当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。